

**製品名: BIN1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81708**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	64.7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BIN1
別名	AMPH2; AMPHL; SH3P9
遺伝子 ID	274.0
SwissProt ID	O00499
免疫原	大腸菌で発現したヒト BIN1 (AA: 189-398) の精製された組み換え断片。

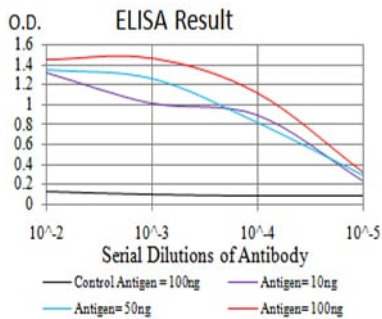
**背景**

この遺伝子は、核細胞質アダプタータンパク質の複数のアイソフォームをコードしており、そのうちの 1 つは、腫瘍抑制因子としての特徴を持つ MYC 相互作用タンパク質として最初に同定されました。中枢神経系で発現するアイソフォームは、シナプス小胞エンド

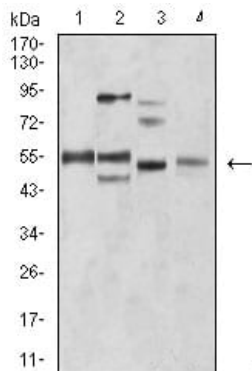
サイトーシスに関与し、ダイナミン、シナプトジャニン、エンドフィリン、クラスリンと相互作用する可能性があります。筋肉で発現するアイソフォームと普遍的に発現するアイソフォームは、細胞質と核に局在し、カスパーゼ非依存性のアポトーシス過程を活性化します。マウスを用いた研究では、この遺伝子が心筋の発達に重要な役割を果たすことが示唆されています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。腫瘍細胞株で発現する異常なスプライスバリエーションも報告されています。

## 研究分野

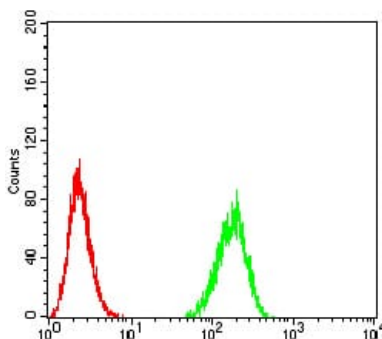
## 画像データ



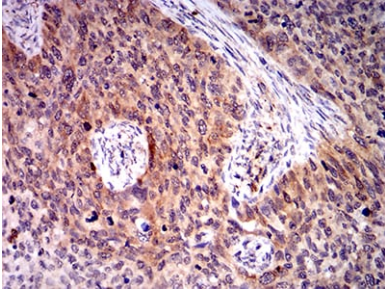
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



C2C12 (1) 、A431 (2) 、HEK293 (3) 、および MCF-7 (4) 細胞溶解物に対する BIN1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



BIN1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色を伴う BIN1 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。